

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果について

南相馬市立石神第二小学校

1 実施日 令和6年 4月18日(木)

2 調査対象 第6学年児童(47名)

3 調査内容

(1) 教科に関する調査(国語、算数)

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

(2) 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査

4 調査結果

(1) 教科に関する調査

国語は、おおむね全国平均でした。

算数は、おおむね全国平均でした。

(2) 児童質問調査

成果が見られた項目

- PC・タブレットなどのICT機器を活用することによって、友達と協力しながら学習を進めることができる。
- 各教科等で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っている。
- 算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えている。

課題が見られた項目

- 自分には、よいところがあると思いますか。
- 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。
- 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか。

5 学力向上の取り組み

国語の調査結果では、話し言葉と書き言葉の違いに気付いたり、資料を活用して自分の考えが伝わるように表現を工夫したりする問題に課題が見られました。算数では、速さの意味の理解や、円グラフの特徴の理解など、変化と関係、データの活用における知識の習得に課題が見られました。本校では今後、次の2点について重点的に取り組んでいきます。

- ・ 言葉の特徴や使い方について習熟する時間を確保(知識・技能の習得)したり、自分の考えをまとめ、相手に伝わるように話したり(思考・発信型の授業)する授業を実践します。
- ・ 基礎的・基本的な知識や技能の習得に力を入れるとともに、できたことや分かったことを活用して問題を解く時間(ふり返りの時間)を確保します。

6 保護者の皆様へ

お子さんの学習環境・生活環境づくりについて、ご家庭のご協力をお願いします。

- 家庭学習時間の確保(低学年10~30分、中学年30~60分、高学年60~90分)
- 家庭で読書する習慣づくり(家庭読書カード)
- 子どもの可能性を引き出し伸ばす、温かな励まし(自己肯定感を!自信を!)